

報告事項

「豊かな人権文化を築く学校づくり事業」の成果と今後の
取組について

「豊かな人権文化を築く学校づくり事業」の成果と今後の取組について、別紙
のとおり報告します。

令和2年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

報告事項ス





「豊かな人権文化を築く学校づくり事業」の成果と今後の取組について

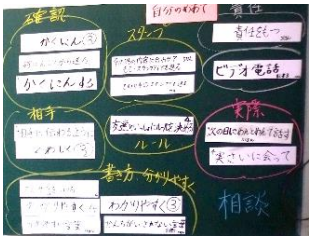

令和2年3月20日
人権教育課

学校・家庭・地域が連携・協働し、豊かな人権文化を築く資質を備えた児童生徒を育成する学校の研究・取組を支援し、その成果を人権教育プログラム集として県内に普及させるため、事業実施校3校において授業実践とPTA人権教育研修を行うことができた。（2年計画の2年目）

今後も学校・家庭・地域が連携・協働していじめ防止等に取り組むことの大切さを普及し、豊かな人権文化を築く資質を備えた児童生徒を育成することのできる魅力ある学校づくりを進めていく。

1 事業実施校における取組（2年次）について

実施校	学校での取組	PTAでの取組
鳥取市立千代南中学校	<p>良好で豊かなコミュニケーションについて学ぶことを通して、多様である一人ひとりを認め合い、互いに尊重される集団づくりのためにできることを主体的に考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1年生を対象に、コミュニケーションに必要なスキルについて理解するとともに、コミュニケーション上の困難さが生じても第三者の「架け橋対応」が仲を取り持つことを学習した。 ● 「学習環境のユニバーサルデザイン化」など一人ひとりが尊重される集団づくりをすすめていることもあり、生徒も日頃のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、仲間のためにどのような「架け橋対応」ができるかを主体的に考える姿が見られた。 	<p>中学生と同様に、保護者もコミュニケーションのスキルとともに「架け橋対応」について理解を深めるため、SNSにおけるコミュニケーション上のトラブルを題材とした参加型研修に挑戦した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加者は、トラブル解決に向け、文字だけでは分からないからこそしっかりとコミュニケーションをとりながら、グループでの話し合いを行った。 
北栄町立大栄中学校	<p>性の多様性について考えることを通して、お互いの立場・気持ちを大切にする学校や社会づくりにつながる資質・能力の育成を、町教育委員会の協力も得ながら推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2年生2クラスを対象に、性の多様性について理解し誰もが過ごしやすい社会について考える学習を実施。 ● 校内研究の取組を関連させ、自分の意見を明確にして話し合い活動を行いながら理解を深めた。 ● 人権教育参観日では当事者による講演を聞き自分の考え方を見つめるきっかけとなった。 ● 教職員の理解も深めるために、夏季休業中に教職員研修を実施した。 	<p>中学生を主人公としたエピソードをもとに参加者が意見を交換しながら性の多様性について理解を深めるプログラムを作成し、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修会では、生徒の学習の様子や感想にもふれながら理解を深めた。 ● 参加者は異なるグループをつくりながらたくさんの人と話し合いを重ねる「みつばちわくわくカフェ」を体験し、多様な考え方にふれることができた。 

境港市立渡小学校	児童が直面するインターネットに関わる課題について話し合うことを通して、時代に合った資質能力を育てることを意識し、人権が尊重された学校づくりを推進した。	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 5年生児童を対象に、インターネット上で意思の疎通を行う際に大切になることを考える学習を展開した。 ● 児童は、実際のSNS上のコミュニケーションの特徴（複製、拡散、保存、検索）に気づき、普段の生活やSNS上でより良い人間関係を築くための自分のめあてをもつことができた。 ● 境港市立第三中学校区人権教育研究発表会にて授業を公開し、市内の小・中学校教職員への啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が授業を通してもっためあてについて、保護者と考えを共有した。 ● インターネット社会（ケータイ・スマホ）に関するキーワードの書かれたカードを使用して、保護者が直面する悩みや解決法を、参加者同士で話し合った。 ● 「インターネット社会の中で生きる子どもと共に、家族で大切にしている（したい）こと」についてグループで話し合い、ポスターセッションを行うことで、参加者は様々な考えに触れた。 

2 ファシリテーター派遣事業について

人権教育プログラム（社会教育編）等を活用した保護者等への研修の実施を希望する学校（PTA）等に対し、学習促進者となるファシリテーター（各市町村の人権教育推進員等）を派遣した。

＜派遣実績 ※（ ）：昨年度実績＞

派遣した学校PTA等	市町村数	学校PTA等の数	参加人数
公立小学校PTA	10（8）	25（21）	735（743）
公立中学校PTA	6（5）	11（11）	304（299）
県立特別支援学校		1（0）	22（0）
私立中学校		1（1）	31（21）
その他（県P協、中学校区等）		4（4）	182（181）
合計		42（37）	1274（1244）

＜参加者アンケートより＞

全学校・PTA対象項目	肯定的回答（％）	参考（昨年度・一昨年の数値）
新しい気づきや疑問が生まれるものでしたか。	97.6％	H30:96.9%、H29:96.7%
進んで考えたり、話し合ったりできましたか。	97.0％	H30:97.8%、H29:98.8%

リポート校（継続して事業を活用している学校等）対象項目	肯定的回答（％）
いじめの未然防止に向けて、親子の関わりを大切にしていますか。	95.4％
いじめの未然防止に向けて、保護者同士の関わりを大切にしていますか。	85.8％
いじめの未然防止に向けて、学校（先生方）との関わりを大切にしていますか。	89.0％

3 今後の取組について

今後も県内の各地域、各校区へこの取組のよさを広めていく必要がある。このため、令和2・3年度は、新たな事業実施校を指定し、「人権教育プログラム集」（今年度作成した指導案・プログラムを含む）を活用しながら、学校・家庭・地域が連携・協働していじめ防止等に取り組むことの大切さを普及し、豊かな人権文化を築く資質を備えた児童生徒を育成することのできる魅力ある学校づくりを進めていく。